

人口ビジョン
(令和42(2060)年度)

人口減少社会にあって、本市の人口減少幅をできる限り抑え、将来にわたって持続可能な柏崎市を構築する。

人口動向

- ・本市の人口は、平成7(1995)年をピークに減少傾向にある。
- ・特に若い世代と女性の流出が顕著である。
- ・出生数が死亡数を下回っている、自然減が人口減少の最も大きな要因である。
- ・合計特殊出生率は、国や新潟県の平均を上回っている。

将来人口推計

- ・現状のまま推移した場合、令和42(2060)年には現人口から3.9万人に減少すると推計される。
- ・現状の傾向を前提とした将来人口を推計する。その過程において各種人口減少抑制策を積極的に展開した場合の将来人口を推計する。

人口の将来展望

- ・本市の将来を担う若い世代が柏崎に愛着や誇りを持って暮らし続けるため、産業の活性化などの有用な施策を展開する。
- ・特に若い世代と女性の流出を抑制することやU・Iターンによる流入、また、子育て環境の充実による出生率の向上を図る。
- ・これらの施策を着実に進めることにより、将来展望として、令和42(2060)年に、約〇万人～〇万人を推計する。

総合戦略(令和2(2020)年度～令和6(2024)年度の5か年間)

最重点目標	基本目標	基本的方向 KPI(重要業績指標を設定)	主要施策	重点プロジェクト
若者と女性が誇りと愛着を持って暮らす	地域産業の振興を図り雇用の場をつくる	地域産業を活性化する	地域産業の稼ぐ力の拡大 新たな産業の創出	
		雇用対策を強化する	若者と女性の雇用促進 創業・起業の推進	
	定住を促す魅力あるまちをつくる	若者の定住を促進する	U・Iターン施策の推進 新卒者の定着に対する支援	
		柏崎らしさを創出する	シティセールスの推進 地域コミュニティの維持・活性化	
	子どもを産み育てやすいまちをつくる	地域で子育てを支援する	妊娠・出産・子育ての支援 出産や子育ての経済的負担の軽減	
		若者のくらしを支援する	ワーク・ライフ・バランスの促進 若者の交流・結婚活動に対する支援	
	地域の活力を担う人材をつくる	愛着や誇りを育む人材をつくる	愛着や誇りを持てる教育の推進 地域人材の育成	
		地域産業を担う人材をつくる	ものづくり技術の継承・新たな技術に対応した人材育成 学生の確保・若者リーダーの育成	